

科目名	環境学概論							教職	
科目区分	環境基礎	履修区分	必修	配当年次	1	単位数	2	開講区分	前期
教員名	荒田 鉄二（専任）								
授業の概要	キーワード：持続性、循環、自然共生								
	人間と自然の関係、人間の生存基盤としての環境の役割、これまでの環境問題と環境対策の歴史、温暖化等の今日の環境問題について学ぶ。また、持続性の概念・指標および持続可能社会づくりの取り組みについても学ぶ。								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の生存基盤としての環境の役割について理解する。 2. 地球の有限性の顕在化に伴う持続性問題の構造を理解する。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義概要：各回の講義で取り扱う内容を紹介する。 2. 自然界における人間の位置：人間と自然の関係について学ぶ。 3. 人間の生存基盤としての環境：地球システムの構成と物質循環について学ぶ。 4. 環境問題の歴史：環境問題の歴史と類型について学ぶ。 5. 有限の地球：人口問題、資源問題、生物多様性問題など、地球の有限性の顕在化に伴う問題の構造を学ぶ。 6. 地球温暖化：温暖化の状況、影響、緩和策および適応策について学ぶ。 7. エネルギー：エネルギーと環境の関わり、再生可能エネルギー等について学ぶ。 8. 生物多様性：生物多様性の現状と生物多様性保全のための取り組みについて学ぶ。 9. 循環型社会：廃棄物リサイクルと循環型社会構築について学ぶ。 10. 化学物質：化学物質による汚染とその防止策について学ぶ。 11. 環境と経済：経済成長と環境負荷の関係について学ぶ。 12. 持続可能とは：持続性の概念とその指標について学ぶ。 13. 持続可能社会(1)：都市における持続可能社会づくりについて学ぶ。 14. 持続可能社会(2)：農村における持続可能社会づくりについて学ぶ。 15. 持続可能社会(3)：持続可能な産業について学ぶ。 16. 定期試験。 								
評価方法	定期試験により評価する（100%）。								
講義外での学習	講義中に紹介する本を、少なくとも1冊は読むこと。								
履修上の注意事項	講義中は静粛を保つこと。 ※先修科目：なし。								
教材	<p>◆教科書：特に使用しない。</p> <p>◆参考書：講義の中で適宜紹介する。</p>								